vinetur

AdVini、フランス最大手のノンアルコールワインブランド買収に向け独占交渉

Vinadeisとの買収案にはMythiqueや在庫、スタッフも含まれ、対象ブランドの売上高は約1,400万ユーロに上る

2026年11月16日（月）



フランスのワイン会社AdViniは、協同組合グループInVivoのワイン部門であるVinadeisと、同社の2つのワインブランドの買収に向けた独占交渉に入った。この取引により、AdViniはノンアルコールワインでの存在感を高めるとともに、オクシタニー産ワインの事業基盤を強化する。

両社は11月12日、予定されている取引の対象に、フランスを代表するノンアルコールワインブランドと位置付けるBonne Nouvelleと、オクシタニー産ワインに特化したブランドMythiqueが含まれると発表した。取引には関連事業、在庫、両ブランドを担当するチームも含まれる。共同声明によると、2ブランドの売上高は合計で約1,400万ユーロに上る。

両社は、取引が2027年2月に完了する見通しだと述べた。両グループが明らかにした条件では、AdViniは390万ユーロ相当の株式を交付するほか、取得する在庫に対する現金も支払う。

今回の交渉は、AdViniが4月30日にVinadeisとの前回の取引を完了してから、わずか数カ月後に始まった。前回の取引では、AdViniはVinadeisのワイン事業の一部を引き継ぐ対価として、AdViniの資本の7.92％を譲渡した。新たな合意は両社の関係をさらに発展させ、追加の商業資産をAdViniのポートフォリオに移すものとなる。

Vinadeisは旧Cordier事業で、フランス最大級の協同組合グループの一つであるInVivoの傘下にある。今回の買収が実現すれば、AdViniは市場でそれぞれ異なる位置付けを持つ2ブランドを獲得する。ワイン生産者が、低アルコールやノンアルコール製品への関心の高まりを含む消費者需要の変化への対応を進めるなかでの動きだ。

共同声明で両社は、Bonne Nouvelleの加わることで、フランス国内と輸出市場の双方で非常に力強く成長しているノンアルコールワイン分野におけるAdViniの基盤が強化されると述べた。この取引は、単独の案件にとどまらない影響をもたらす可能性がある。確立された商業ブランドが大手ワイングループにさらに集約され、従来のワインカテゴリーを上回るペースで拡大している飲料市場の一角で、競争が強まる可能性があるためだ。

Mythiqueの買収案により、AdViniはフランス有数のワイン産地の一つ、オクシタニーに結び付いたワイン市場での足場も広げることになる。生産者や流通業者にとって、産地は引き続き重要な販売要素だ。地域のアイデンティティが小売店の棚でブランドを差別化するうえで役立つことの多い輸出市場では、とりわけ重要となる。

発表には、両グループのより広範な関係に関わるガバナンス面の内容も含まれていた。両社によると、InVivoの最高経営責任者（CEO）であるThierry Blandinièresは、2026年12月31日終了年度に関する次回の年次株主総会でAdViniの取締役に選任される候補として検討されている。また、AdViniの戦略委員会の委員長候補としても検討されている。

取引が完了すれば、流通、ブランド管理、輸出における規模拡大を目指す企業グループが動くフランスのワイン業界で、さらなる再編の一歩となる。また、消費者がアルコールを含まない選択肢を求めるなか、既存のワイン生産者の関心が高まっている急成長中のノンアルコールワイン分野で、AdViniの存在感を一段と高めることになる。